

# 2017年3月期 決算説明会

2017. 6. 8

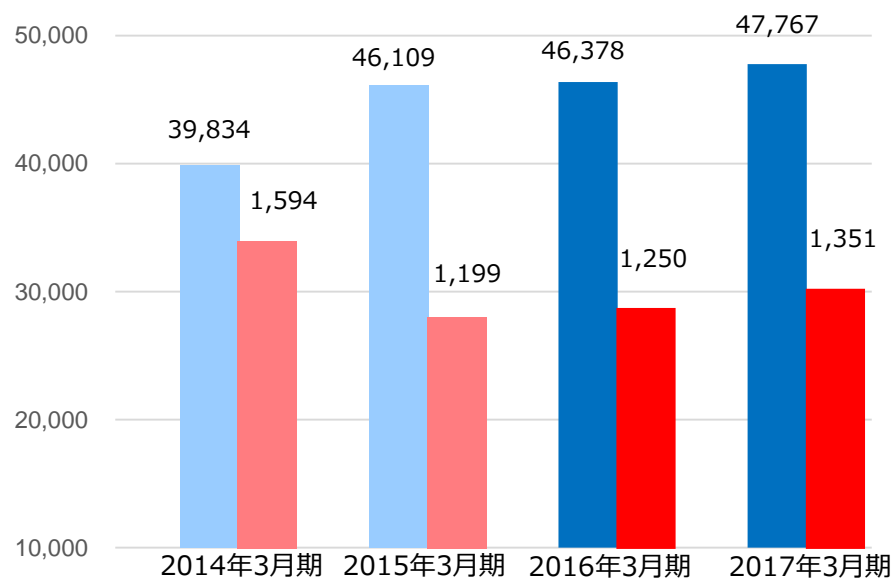


カーリットホールディングス株式会社

CODE : 4275

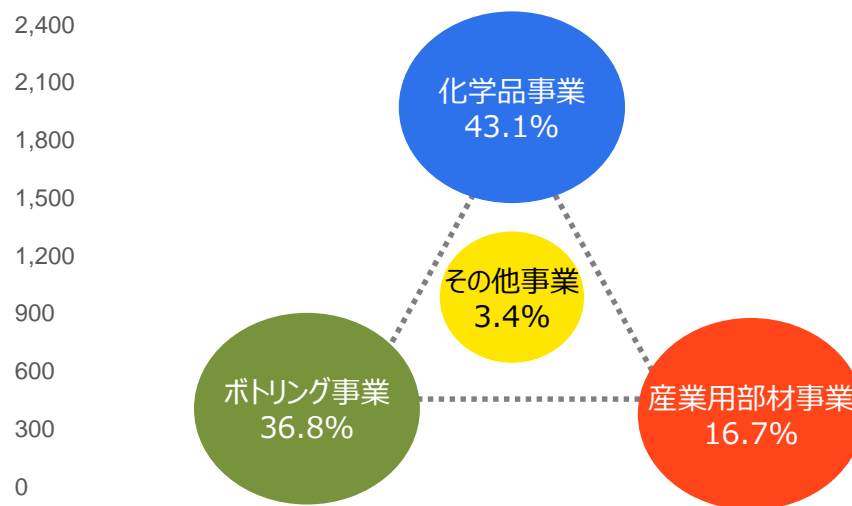
本 社	東京都中央区京橋一丁目17番10号	代表者	代表取締役社長 廣橋 賢一
創 業	1918年	設 立	2013年10月 1日
資本金	2,099,530,000円	従業員数	995名 (連結)
発行済株式数	24,050,000株 (1 単元100株)	単元株主数	34,944名

<売上高・営業利益推移>



(2017年3月31日時点)

<2017年3月期 売上高構成比>



# 2017年3月期 決算概要

※連結子会社間の合併に伴い、研削材部門を「産業用部材」から「化学品」に移管しました。前年比較については、前年の数値を移管後のセグメント区分に組み替えた数値で行っております。

(単位：百万円)

	2016年 3月期 通期実績	2017年 3月期 通期実績	差 異	参 考	
				2017年 3月期 上半期実績	2017年 3月期 下半期実績
<b>売上高</b>	46,378	<b>47,767</b>	1,388	23,831	23,935
売上原価	39,239	40,120	881	20,304	19,816
率	84.6%	84.0%	△0.6%	85.2%	82.8%
販売費及び一般管理費	5,889	6,295	405	3,133	3,161
率	12.7%	13.2%	0.5%	13.2%	13.2%
<b>営業利益</b>	1,250	<b>1,351</b>	101	393	958
率	2.7%	2.8%	0.1%	1.7%	4.0%
<b>経常利益</b>	1,330	<b>1,439</b>	109	443	995
率	2.9%	3.0%	0.1%	1.9%	4.2%
<b>純利益</b>	754	<b>765</b>	11	254	510
率	1.6%	1.6%	0.0%	1.1%	2.1%

(単位：百万円)

	2016年 3月期	売上高			差異	2016年 3月期	営業利益			差異
		2017年3月期		通期			2017年3月期		通期	
		上半期	下半期				上半期	下半期		
化学品	19,614	10,328	10,251	<b>20,579</b>	964	661	267	507	<b>774</b>	113
ボトリング	17,788	9,057	8,531	<b>17,588</b>	△200	414	120	257	<b>377</b>	△37
産業用部材	7,638	3,895	4,085	<b>7,980</b>	341	82	75	142	<b>217</b>	135
小計	45,040	23,280	22,867	<b>46,147</b>	1,106	1,158	463	906	<b>1,369</b>	211
<b>連結合計</b>	46,378	23,831	23,936	<b>47,767</b>	1,388	1,250	393	958	<b>1,351</b>	101

化学品 ⇒ 三協実業が連結寄与するも、佳里多上海での一部商材取扱停止により減収。

ボトリング ⇒ ペットボトルラインの設備増強工事により製造停止期間が発生。

産業用部材 ⇒ 東洋発條工業の収益改善。アジア技研の連結寄与。

その他 ⇒ 建築設計会社（エスディーネットワーク）の100%株式取得。

(単位：百万円)

	2016年 3月31日	2017年 3月31日	差異		2016年 3月31日	2017年 3月31日	差異
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
現金及び預金	4,871	4,262	△609	支払手形及び買掛金	5,681	5,939	+258
受取手形及び売掛金	10,100	10,885	+785	有利子負債	9,697	10,307	+610
棚卸資産	4,214	3,834	△379	その他負債	8,912	9,250	+337
その他流動資産	1,639	1,217	△421	<b>負債合計</b>	<b>24,291</b>	<b>25,518</b>	<b>+1,227</b>
有形固定資産	18,032	19,961	+1,929	<b>純資産の部</b>			
無形固定資産	776	580	△196	株主資本	20,107	20,639	+531
投資その他の資産	7,093	8,695	+1,602	その他の包括利益 累計額等	2,330	3,280	+950
				<b>純資産合計</b>	<b>22,437</b>	<b>23,920</b>	<b>+1,482</b>
<b>資産合計</b>	<b>46,728</b>	<b>49,438</b>	<b>+2,710</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>46,728</b>	<b>49,438</b>	<b>+2,710</b>

有形固定資産の増加要因 ⇒ 広桃発電所更新・推進薬研究施設・ペットボトル飲料製造ライン

(単位：百万円)

	2016年3月期	2017年3月期		
営業活動による キャッシュ・フロー	2,294	2,384	税金等調整前当期純利益	1,222
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 795	△ 2,871	減価償却費	1,742
財務活動による キャッシュ・フロー	424	△ 137	売上債権の増減額	△ 528
現金及び現金 同等物の増減額	1,901	△ 656	固定資産の取得 による支出	△ 2,879
現金及び現金 同等物の期首残高	2,886	4,788	長期借入れによる収入	2,500
現金及び現金 同等物の期末残高	4,788	4,131	長期借入金 の返済による 支出	△ 2,298
			配当金の 支払額	△ 239
			利息の 支払額	△ 71

# 2018年3月期 業績予想



(単位：百万円)

	2017年3月期 計画	2017年3月期 実績	<b>2018年3月期 計画</b>	2017年3月期実績 2018年3月期計画 比較
<b>売上高</b>	51,000	47,767	<b>51,000</b>	+ 3,233
<b>営業利益</b>	1,200	1,351	<b>1,500</b>	+ 149
<b>経常利益</b>	1,300	1,439	<b>1,550</b>	+ 111
<b>純利益</b>	650	765	<b>850</b>	+ 85
<b>配当 (1株当り)</b>	10円	10円	<b>10円</b>	±0

(単位：百万円)

	2017年3月期 計画	2017年3月期 実績	<b>2018年3月期 計画</b>	2017年3月期実績 2018年3月期計画 比較
<b>売上高</b>	51,000	47,767	<b>51,000</b>	+ 3,233
<b>営業利益</b>	1,200	1,351	<b>1,500</b>	+ 149
<b>経常利益</b>	1,300	1,439	<b>1,550</b>	+ 111
<b>純利益</b>	650	765	<b>850</b>	+ 85
<b>配当 (1株当り)</b>	10円	10円	<b>10円</b>	±0

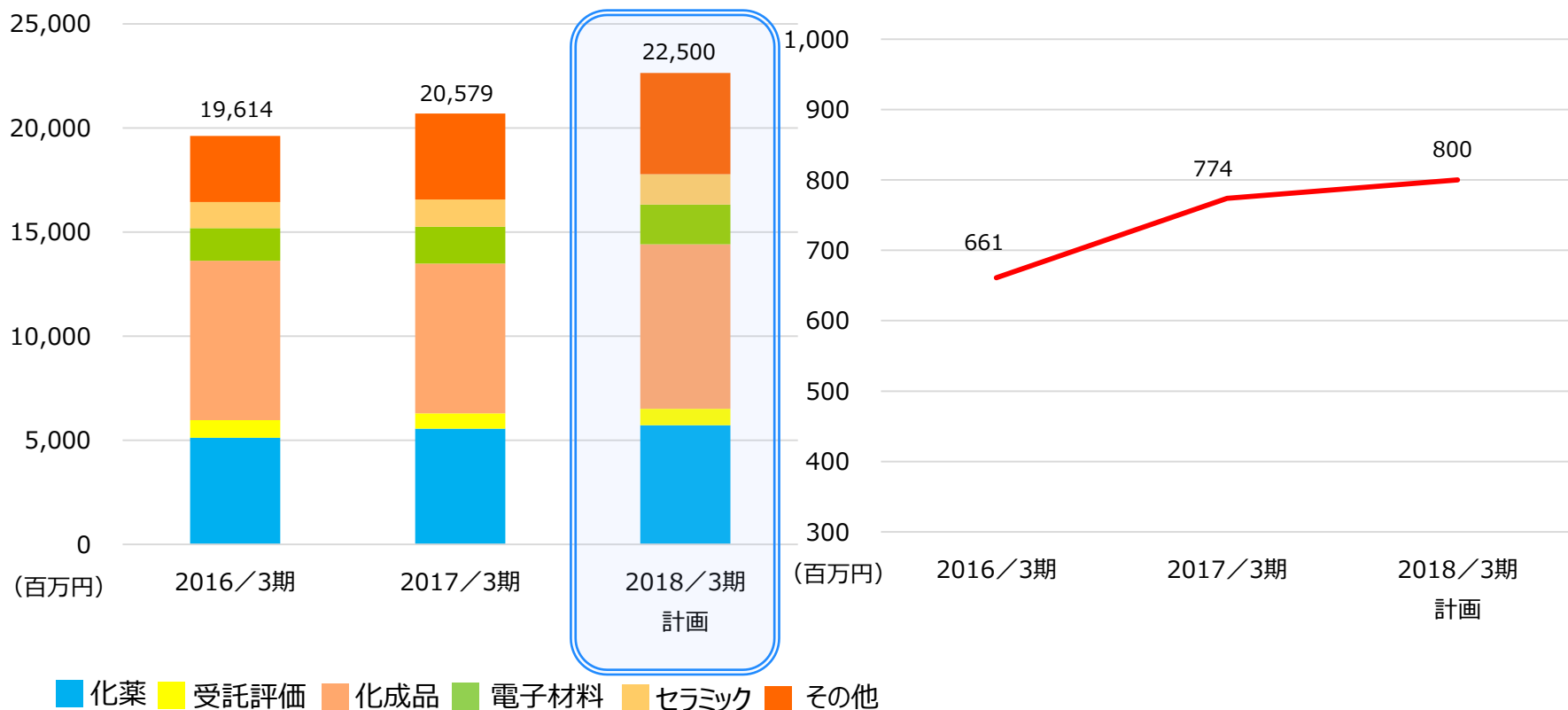
(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2017年 3月期 実績	2018年 3月期 計画	差異	2017年 3月期 実績	2018年 3月期 計画	差異
化学品	20,579	<b>22,500</b>	+1,921	774	<b>800</b>	+26
ボトリング	17,588	<b>18,500</b>	+912	377	<b>460</b>	+83
産業用部材	7,980	<b>8,000</b>	+20	217	<b>210</b>	△7
報告セグメント計	46,147	<b>49,000</b>	+2,853	1,369	<b>1,470</b>	+101
連結合計	47,767	<b>51,000</b>	+3,233	1,351	<b>1,500</b>	+149

化学品事業

【売上高】



【営業利益】

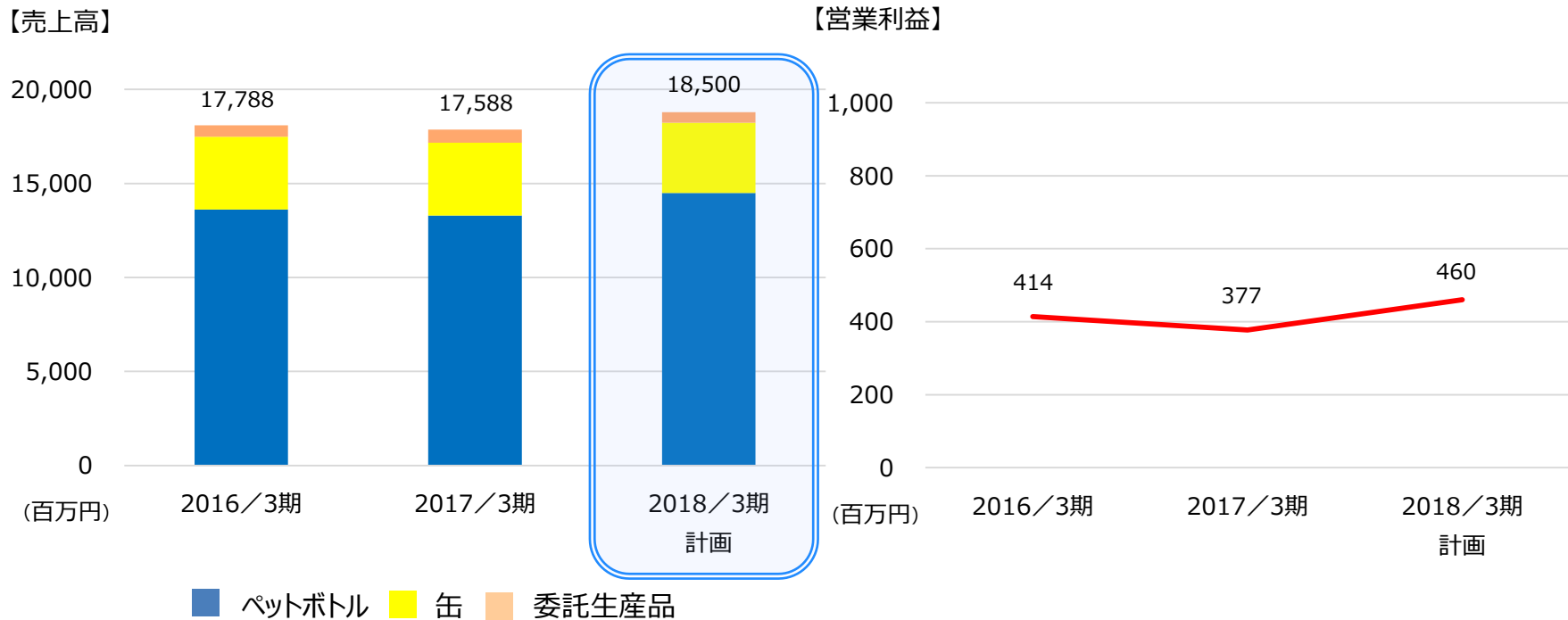


## 【売上変動要因】

分野	製品	売上変動要因	状況・施策
化 薬	産業用爆薬	碎石・土木工事案件数	土木案件の囲い込み
	自動車用緊急保安炎筒	国内自動車販売台数 車検台数	販売・車検台数ともに減少するが ガラス破壊機能付きへの交換を促進
受託評価	危険性評価試験 電池受託評価試験	リチウムイオン電池需要 顧客の開発状況	設備増強 受注増による稼働率向上
化成品	塩素酸ナトリウム	紙パルプ需要	シェア維持・拡大
	過塩素酸アンモニウム	HⅡロケット打ち上げ数	打ち上げ数の増加で順調に推移
電子材料	電子・機能材料	顧客の動向 通信インフラ向けコンデンサ需要	新用途向けなどへの採用の促進
セラミック材料	研削材	鉄鋼（自動車生産台数）	シェアアップ
その他	上海	—	新規商品の取扱開始
	合成樹脂材料	ポリスチレン需要・価格	シェアアップ

### ボトリング事業

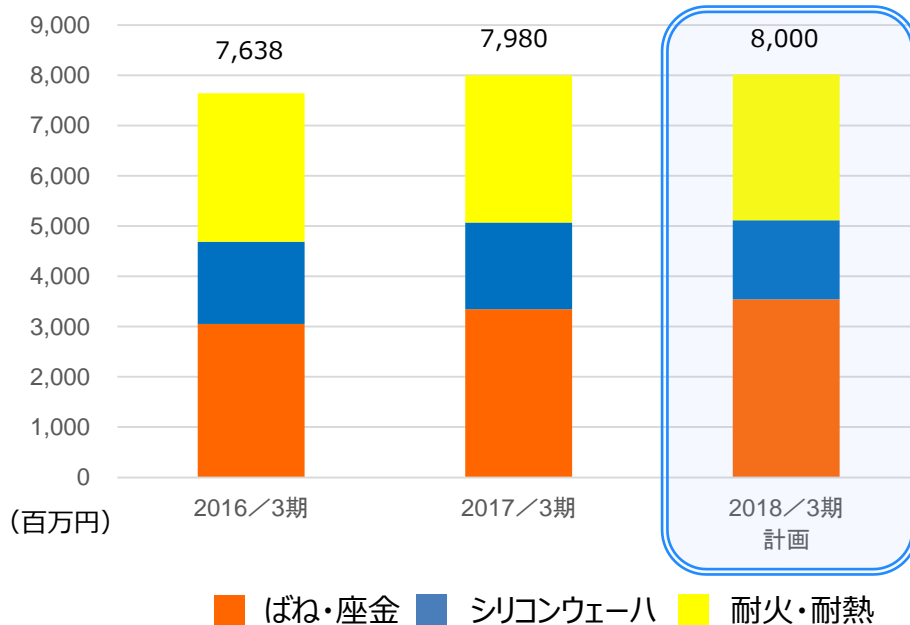
製 品	売上変動要因	状況 ・ 施策
ペットボトル製品	生産能力 夏季の気温	ペットボトル飲料製造ラインの設備を増強 
缶製品	ボトル缶の普及 コンビニコーヒーの普及	お茶缶は維持するものの、 コーヒー缶は漸減傾向 



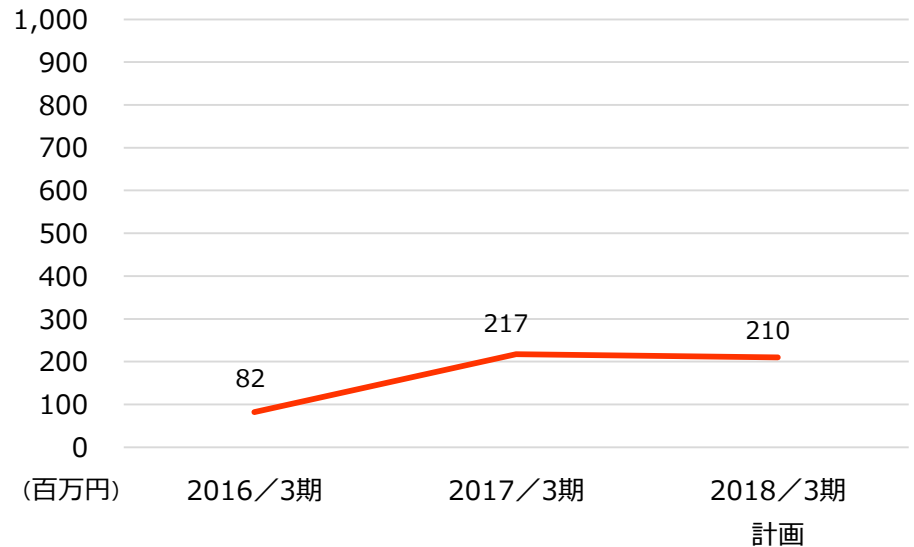
産業用部材事業

製品	売上変動要因	状況・施策	
ばね・座金製品	建機・自動車の生産台数	大型プレス機導入による生産能力の拡充	➡
シリコンウェーハ	半導体市況	半導体市況の足元は好調も事業の再構築 (不採算品目からの撤退・高収益品の拡販)	➡
耐火・耐熱金物製品	炉(焼却・製鉄・セメント)の新規・ 定期修繕動向	海外展開	➡

【売上高】



【営業利益】

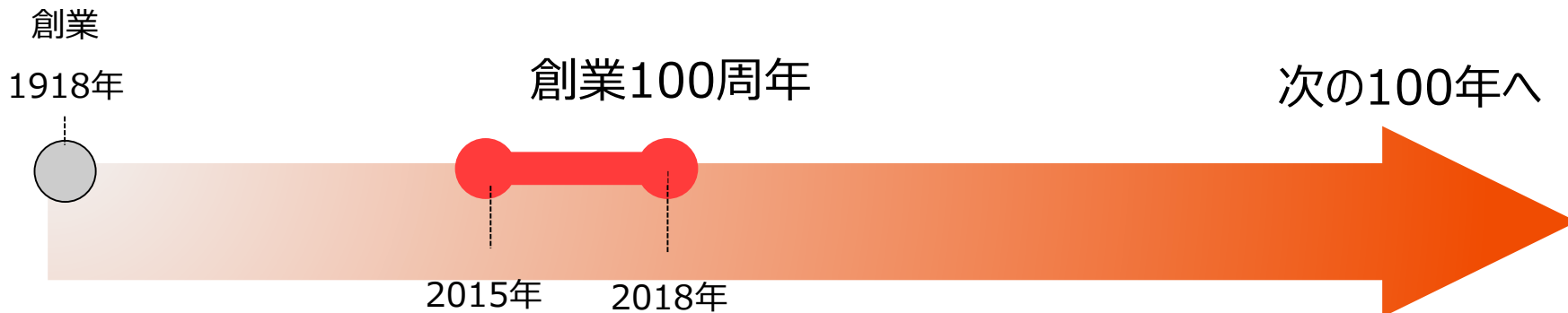


中期経営計画「礎100」  
最終年度とその先に向けて



テーマ

- ①2018年の創業100周年を迎え、更に次の100年企業の礎となる事業基盤の確立
- ②グループ中長期目標（売上高1000億円）到達への道のりを確固たるものにする



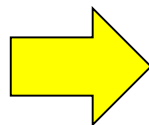
中期経営計画 「礎 100」

当初数値目標

売上高	650億円
営業利益	35億円
営業利益率	5%

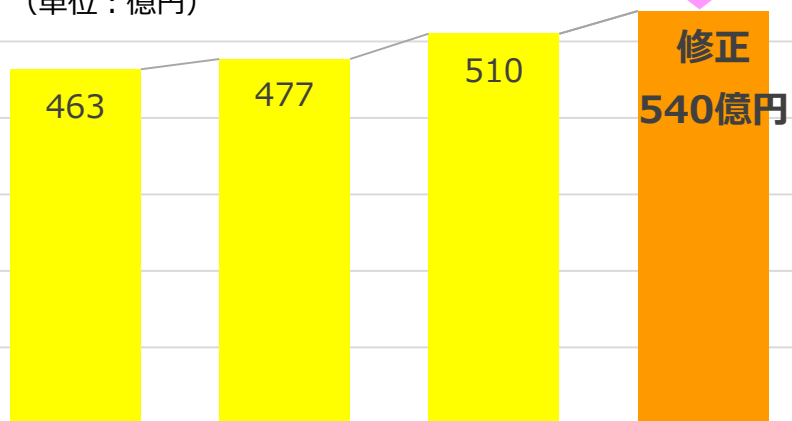
修正数値目標

売上高	540億円
営業利益	24億円
営業利益率	4%



＜売上高＞  
(単位：億円)

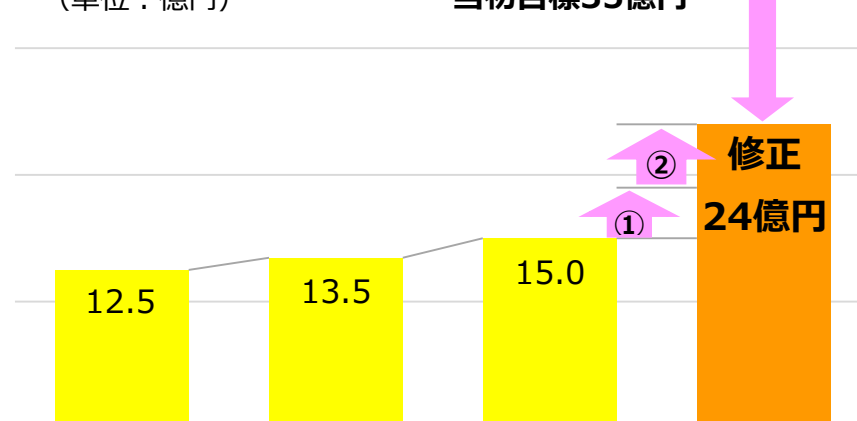
当初目標650億円



2016年3月期 実績    2017年3月期 実績    2018年3月期 計画    2019年3月期 計画

＜営業利益＞  
(単位：億円)

当初目標35億円



2016年3月期 実績    2017年3月期 実績    2018年3月期 計画    2019年3月期 計画

【計画差異の要因】

- 事業拡大計画の修正による減収
- 新規開発品等の立ち遅れによる減収
- 新規案件による増収

△100億円  
△30億円  
+20億円



営業利益  
△11億円

【2019年3月期 増益の要因】

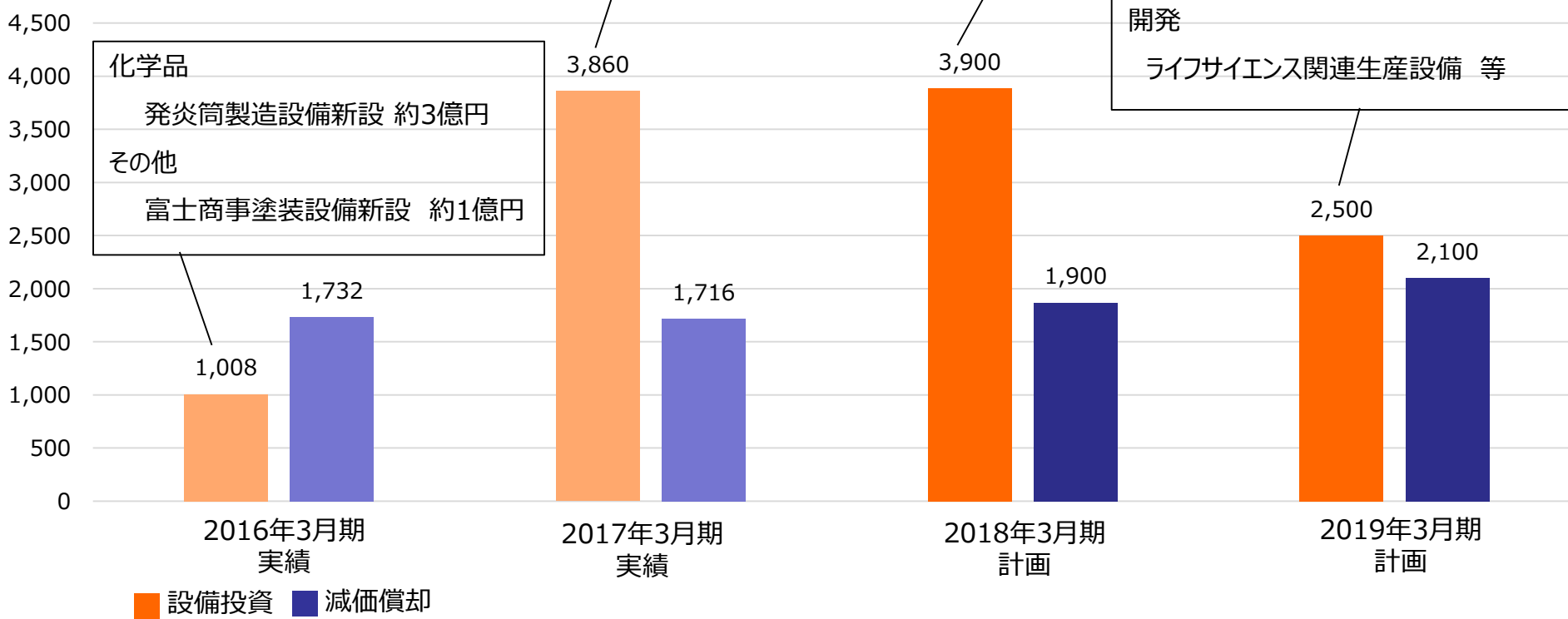
- ① 広桃発電所再稼働による原価低減、のれん償却の減少
- ② 増収に伴う増益

化学品  
広桃発電所更新工事 約6億円  
ボトリング  
ペットボトル飲料製造ライン設備増強工事 約10億円  
開発  
推進薬研究施設新設 約10億円

化学品  
広桃発電所更新工事  
危険性評価複合施設増強  
産業用部材  
東洋発條工業新工場取得 等

開発  
ライフサイエンス関連生産設備 等

(単位：百万円)





＜広桃発電所更新工事＞

投資額 約**23**億円

着工 2016/12 完工 2018/3

購入電力料削減 3億円/年

＜危険性評価複合施設新設・設備増強＞

投資額 約**3**億円

外構着工 2016/11 完工 2017/3 試験設備導入等 2018/3

売上見込 5,000万円/年

＜ペットボトル飲料製造ライン設備増強＞

投資額 約**11**億円

着工 2017/1 完工 2017/3

100万ケース/年 増産 効率化による更なる増産

＜東洋発條工業新工場取得・大型プレス機導入＞

投資額 約**6**億円

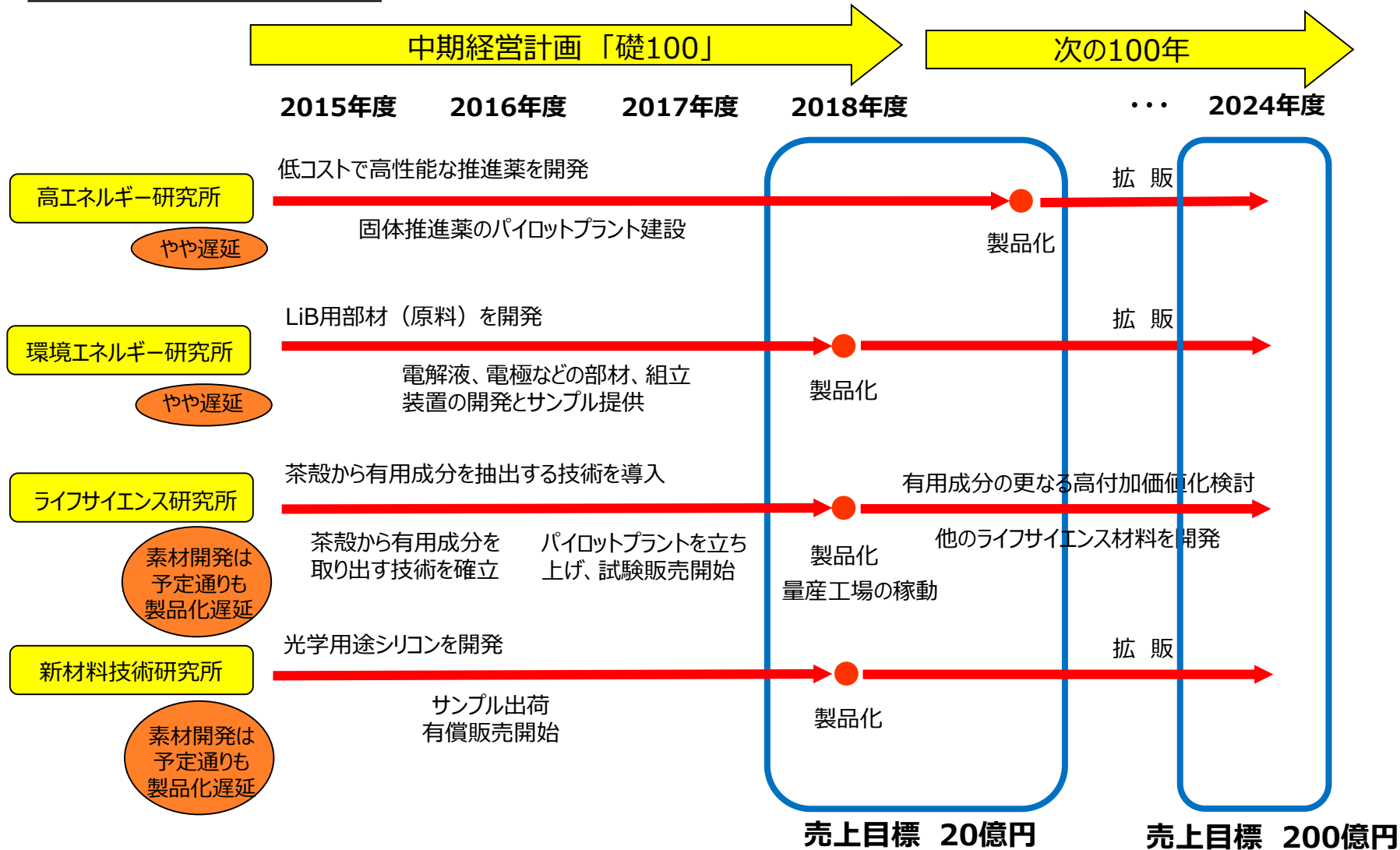
大型プレス機導入 2016/12 新工場取得 2017/6 設備移転 2017年度中

増収見込5,000万円/年 1~2億円/年 更なる増収

# 次の100年に向けて

## <新製品開発見通し①>

### 開発テーマの取り組み状況



やや遅延

やや遅延

素材開発は予定通りも製品化遅延

素材開発は予定通りも製品化遅延

<高エネルギー分野の研究開発>

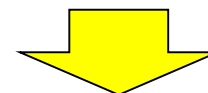


外部要因

- 宇宙産業の市場拡大  
= ロケット打ち上げや衛星の開発・販売、宇宙探査が国際的に市場拡大。
- 宇宙関連法案の成立  
= 宇宙産業の民間企業への門戸拡大。

内部要因

- 火薬技術の知見  
= 固体推進薬の原料の国内唯一のメーカー
- JAXAとの共同開発の実績  
= リチウムガス噴出装置（LES）の開発など

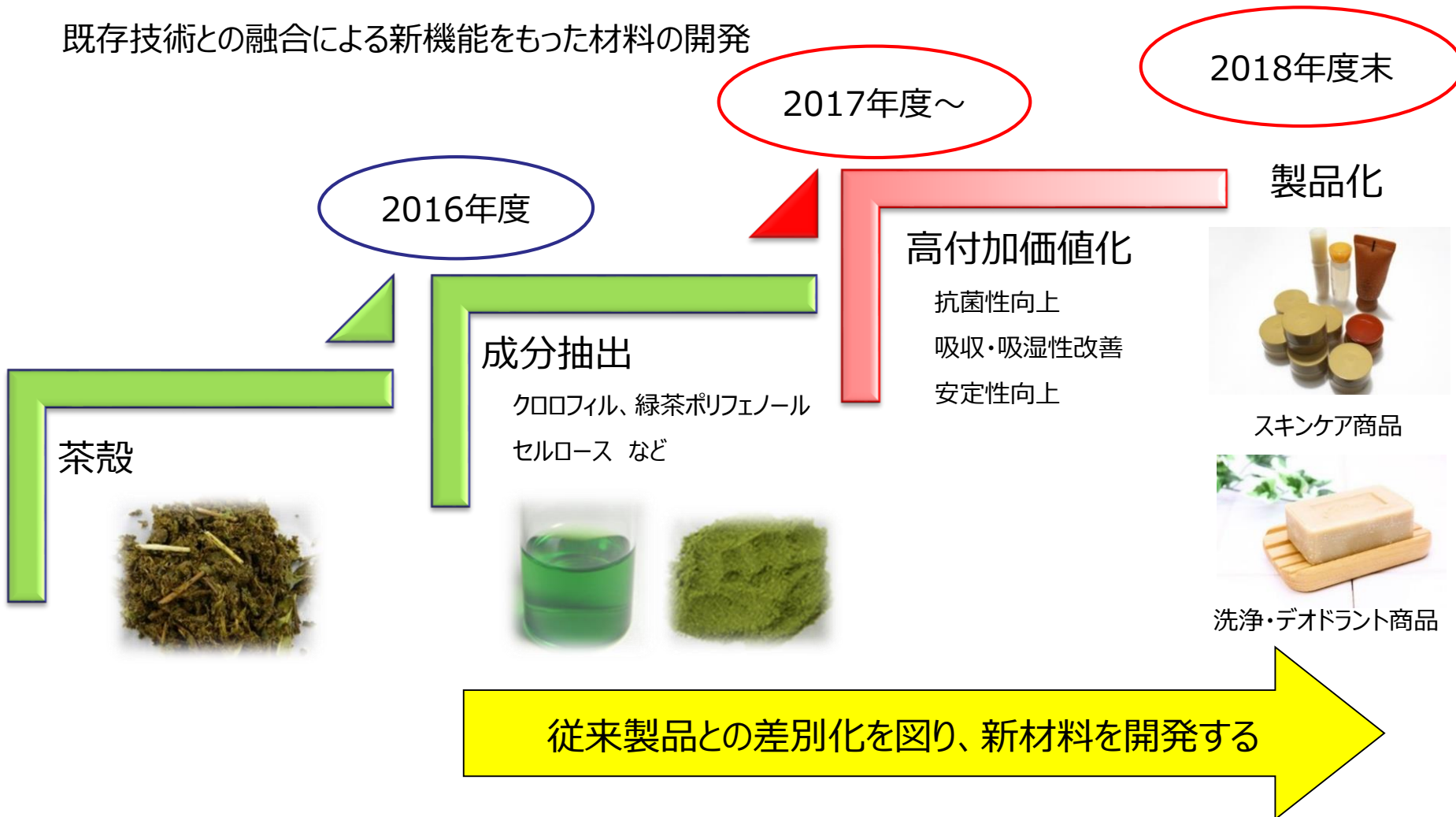


2017年3月 パイロットプラント建設

- 約10億円の投資
- ロケット燃料（固体推進薬、液体推進薬）の開発
- 目標 2019年度 製品化  
2024年度 売上30億円

<ライフサイエンス分野の研究開発>

既存技術との融合による新機能をもった材料の開発



①付加価値の高い新製品の市場への提供

宇宙・環境安全・エネルギー・ライフサイエンス分野製品の早期市場投入

②新規事業・海外展開の積極的な推進

海外事業推進室の設置 等

「礎100」

中長期目標（目指す姿）

2024年までに売上高1000億円企業

2015年

2018年

創業100周年

次の100年へ



IRに関するお問合せ先：  
カーリットホールディングス株式会社  
広報部  
電話：03-6893-7060  
メール：pr@carlit.co.jp

本資料は当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては断りのない場合は2017年3月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。